

2024年1月16日

会員 各位

一般社団法人 福岡県言語聴覚士会  
会長 大内田博文

## 石川県能登半島地震に対する支援について

### －福岡 JRAT の対応－

平素 大変お世話になっております。また日頃より会の事業にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

2024年1月1日（月）16時10分頃、石川県能登地方で最大震度7の地震が発生しました。今回の地震で犠牲となられた方々に、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、今もなお避難生活をされている皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、今回の被災に対して何かできないかと思案されている方は多いと思います。リハビリテーション専門職は、JRATの組織のもと、日頃の経験を活かした災害支援を行うことができます。JRATはJapan Rehabilitation Assistance Teamの略で、発災後、被災地や被災された方々に対して、避難所等での生活支援とその後の地域リハビリテーションへの移行をサポートする団体です。言語聴覚士もJRATの構成員であり、現地において、言語聴覚士としての専門的支援だけでなく、リハ職として被災者の方々の生活を考えた全般的な支援を行います。日頃の臨床と同様、ICFにおける活動・参加の視点で対象者に支援を提供します。

1月7日以降、各都道府県で構成されている地域JRATの代表者が集まり、緊急の会議が開催され状況の共有を行っています。また1月8日付けで石川県と石川JRATが協定を締結しました。これにより各都道府県の地域JRATは石川JRATの指示のもと現地で活動することが可能になりました。福岡県言語聴覚士会も福岡JRATに所属しており、医師やPT、OT、義肢装具士の団体とチームを組み石川県の支援にエントリーする予定です。

石川県の支援は長期化することが予想され、福岡JRATのエントリーも継続的に行う必要があります。当会としても会員の方を対象に、現地支援を行える方や支援を行う意思のある方を広く募集いたします。詳細は別途、福岡JRATから発せられる情報をご確認ください。皆様のご協力をお待ちしております。